

## 平成 26 年度 第 3 回運営幹事会 議事録

作井技術委員会 事務局

開催日時:平成 26 年 11 月 19 日(水)16:00~17:30

開催場所:石油資源開発株 19 階 1906 会議室

出席者:武村委員長、戸田、日野、池田、浦野、田村、尾上、古谷、福嶋、佐藤、前田、片岡  
(計 12 名)

欠席者:長縄

### 議題 1:報告事項

#### 1) 大水深掘削技術分科会:前田座長

- 次回は 12 月上旬(第 2 週)に開催予定。
  - ◇ 経験のない若手からシニアまでを対象とし、より多くの人交流し海洋掘削についての知識を広められるテーマを設定する予定。
- 開催日程およびテーマが決定次第、作井技術委員にも事務局を通し開催を知らせる。その際、参加人数が多過ぎる場合は人数調整の可能性がある旨あらかじめ知らせる。
- ※ 後日、前田座長より連絡があり、12/10 に開催することが決定した。

#### 2) 協会ホームページ委員会:片岡

- 8/5 に開催。参加者 11 名、欠席者 9 名。委員の交代(3 名)。
- 基本方針は昨年度と同様(会員へのサービス拡充、一般社会への石油開発技術の紹介および啓蒙、その他)。

#### 3) 協会理事会:武村委員長

- 会員数の増減、石鉱連からの人件費、管理費費用負担率見直し要請に対する対応、編集員会のアンケート
- 平成 27 年度春季講演会
  - ◇ 6/10, 11 に代々木のオリンピック記念青少年総合センターで開催
  - ◇ 個人講演の申し込みの締切は 2/6、要旨の締切は 4/22

#### 4) 協会幹事会:長縄幹事メモを片岡より報告 (※ 理事会報告と内容が重複する部分は省略)

- 協会誌 6 号に「平成 27 年度春季講演会個人講演申し込み」と「技術協会賞候補推薦」の会告を掲載予定。
- 80 周年記念事業は、10/31 付で特別会計決算、11 月に会計監査、12 月理事会で報告・承認を受け実行委員会を解散する予定。
- 平成 28 年度春季講演会の候補地は来年 2 月の理事会にて決定予定。候補地として、秋田、名古屋、京都、札幌、仙台、金沢が挙がっている。

#### 5) 平成 26 年度 春季シンポジウム原稿編集状況:片岡

- 平成 26 年度シンポジウム原稿の最終原稿は完成。掲載は第 5 号。
- 個人講演の原稿は、推薦 5 件中 3 件投稿するとの返事をいただいた。3 件のうち 1 件は編集

員会にて現在査読中。2 件は原稿が完成し次第入稿の予定一佐藤幹事からテルナイト石川氏原稿ほぼ完成との情報あり。査読・校正が完成した順に、順次協会誌に掲載される。

## 議題 2:平成 27 年度春季講演会

### ■ 個人講演

➤ 活発な議論、意見交換を行うことを目標に構成、進行を工夫する。発表から質疑応答までは以下の流れで行う。

◇ (発表+全体質疑応答)x 数件 → 休憩時間(個別の質問、意見交換)

※ 個別の意見交換のため、技術項目毎にまとめた数件の発表後に休憩時間を 20 分程度とる。発表者にはしばらくの間会場に待機していただく。

※ 全体質疑応答時間および休憩時間を柔軟に調整し、議論の腰を折らないようにする。

※ あらかじめ発表者に以上のような進行方法を知らせて協力を依頼する。

### ■ 作井部門シンポジウム

#### ● シンポジウムテーマ

➤ 失敗やトラブルから如何に学び、リカバリーしたか「PDCA」「改善」といった言葉をキーワードに事例を提供して講演していただく。

➤ テーマ名は運営幹事が複数いる各社はとりまとめて提案して頂く(複数可)。

◇ 期限:本会議から 2 週間以内

◇ 可能なら講演内容候補も合わせて提出していただく。

#### ● 発表および討論の形式

➤ 従来のシンポジウム講演者全員参加でのパネルディスカッションは廃止する。

➤ 以下、会議内で話された、発表から討論までに至る形式の一例である。

◇ 講演(1~数件:関連のあるもの) → 質疑応答(聴衆者全体) → 少人数のグループ(1 グループ 10~20 名程、運営幹事がファシリテーターを務める)に分かれて討論 → 各グループの意見をファシリテーターがまとめ発表

※ 講演時間は規制しないー短くても可。講演や討論内容によって時間の延長、短縮が出来るよう余裕を持たせる。

※ 講演内容候補を精査し、発表および討論の形式を含めたシンポジウムの構成を決定する。

## 議題 3:その他

➤ MQJ 古谷氏は業務上の都合により、近々海外駐在する可能性がある。不在の間の運営幹事会活動は代理人(MQJ 菅野氏あるいは石黒氏)にお願いする予定。

➤ 次回運営幹事会まで、シンポジウム講演、個人講演の構成や進行についての調整はメールで実施する。

以上